

海の研究をする夢

名古屋市立北一社小学校 六年 新谷 桃百果

私は将来、海洋生物学者になりたい。幼いころから何度も水族館に連れてってもらったこともあり、もともと海の生物が好きだった。小学四年生の時、水族館で、リュウグウノツカイと写真をとった。私はこれにとっても感動した。めずらしい生物を見ることができて、写真までとることができたのだ。これがかっかけて、私は海洋生物学者になり、まだ分かっていない生物の秘密や、くわしい体のしくみについて研究したいと思うようになった。

夢をかなえるためのライフプランをたてる上で、大きく三つのことについて考えた。一つ目は、英語についてだ。海洋生物学者は、海外に行くこともあるそうだ。私は四年生の時に英検二級に合格しているが、二年もたっているのに、今は二級の英語力はないのではと思った。だから、

中学生のうちに準一級を受けて英語力を上げたい。二つ目は、大学についてだ。海洋生物学者がある大学のうち、興味深いものを選んで。イルカの生態、アコヤガイと真珠についてなどの研究を行っている大学四つにしぼった。

三つ目は、お金についてだ。海洋生物学者を目指すなら、海の本を読むことは欠かせない。そうになると、授業料や教材費とは別に本代がかかる。そのようなことにもお金が必要になってくるので、大学入学と同時にアルバイトをすることを考えた。アルバイトは、水族館などの海の生き物に関係のある所で働き、お金をかせぎながら学べる所がよいと思った。計画的にお金をためていくために、無駄づかいをしないように気をつけ、今からお金の使い方について考える必要があると思った。

海についての知識が深まったところで、大学や研究所に応募する時のために研究実績をつくり、大学を卒業。次は博士号という学位をとるために大学院に入ってさらに学びたい。水族館にも定期的に行き、実際の生き物も見ることで海への好奇心、探究心を養いたい。調べてみると、海洋生物学者は、簡単になれるものではなく、とても難しいことが分かった。特に、生き物と関係しているの、まずは命を大切に、研究のためだからといって生き物がケガをするようなことはないようにしたい。自分の夢への道のりがくわしく分かったところで、夢が実現できるよう努力し、海洋生物学者への一歩をふみだしたい。

新谷 桃百果 のライフプラン

将来なにになりたいか？ 海洋生物学者

その理由：海の生き物が好きで、お母さんにすすめられたから

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	12(小6)	受験勉強もがんばる。小学校卒業	受験費 じゆく代
2022年	13(中1)	中学校入学 弓道部に入る 英語の勉強 英検	本代 入学費 教科書代
2023年	14(中2)	教科書のテストの点数の差をなくす	本代 学費
2024年	15(中3)	中学卒業	
2025年	16(高1)	高校入学 理系を中心にかんばる	学費 授業料
2026年	17(高2)	海への関心と高める 本を読む	
2027年	18(高3)	受験勉強をしつつ 海の本読む(受験勉強優先)	教材費 受験代
2028年	19(大1)	金大 三大 京大 東海 どれかに収 バイトをはじめる	学費 12万3800円~173万円(大学) 94万円~140万5800円(専門学校)
2029年	20(大2)	海への好奇心 探求心を養う	教材費 本代 授業料
2030年	21(大3)	大学院における生物について研究 研究実績をつくる	
2031年	22(大4)	大学卒業	
2032年	23	大学院に入る 博士号をとるために勉強	大学院に入るお金 教材費
2033年	24	海洋生物に関する本を読む 水族館に行く	本代 教材費
2034年	25	機械に慣れる	
2035年	26	博士号を取るために先生につく	
2036年	27	博士号の学位をとる 大学 博士研究者として修行 研究所に応募	
2049年	40	海洋生物学者として研究所で働く 新たな発見をする	

※最後の行は、荷歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう！